

# 引っ越し

染谷 秀雄

現在の千葉市に移り住んだのが昭和五十四年三月十八日、三十六歳のときである。会社の住宅預金積立制度と会社の融資を受けての一戸建てであった。東京育ちでまさか千葉県人になるとは思わなかったが、田中角栄の日本列島改造論の辺りから地価が上がりだし、先々はマイホームを持つことが困難になるのではと思われた。何とか会社斡旋の土地も手に入れることが出来、交通の状況も快速が停車し、東京方面に直通列車が走るようになって通勤環境が徐々に整ってきたため、土地取得から三年、子供の入学に合わせて思い切って家を建てた。借金だらけではあったが、何とか建てることが叶った。今の地は環境もよく、日当たり良好、静かで住みよいため、終の栖となる筈であったが、子供のいない兄夫婦の義姉が昨年亡くなり、実家は兄一人の生活になってしまった。今は一人で何でもこなすものの数年後のことを考えるとやはり心配で、同じ家に住むのが一番であるという結論に至った。実家の二階は、一所帯が住めるスペースは十分あるため、二階に移り住むことに急遽決まった。そのため住環境は整備しつつあるがただ、四十余年の歳月はあらゆる品物を多くしてしまい、一気に断捨離をしなくてはならない羽目になった。中でも本の取捨選択が一番の難題である。今は週末になると粗大ゴミ、不燃物の処分に明け暮れしているが、元々何でも取っておく習性が禍して捨てきれないでいる。今はいつ引っ越すことができるかが喫緊の問題である。